



## 2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月11日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション  
コード番号 8194 URL <http://www.lifecorp.jp/>



代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岩崎 高治  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経経本部副本部長 (氏名) 金子 和夫 TEL 03-5807-5111  
兼 IR部長  
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の連結業績 (2023年3月1日～2023年11月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	602,452	5.9	19,232	41.8	19,852	40.3	13,269	37.5
2023年2月期第3四半期	568,681	—	13,559	△31.2	14,151	△30.0	9,652	△29.6

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 13,323百万円 (36.9%) 2023年2月期第3四半期 9,735百万円 (△28.2%)

(参考) 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

売上高 2024年2月期第3四半期 580,449百万円 (5.8%) 2023年2月期第3四半期 548,649百万円 (—%)  
営業収入 2024年2月期第3四半期 22,002百万円 (9.8%) 2023年2月期第3四半期 20,032百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	282.75	—
2023年2月期第3四半期	205.93	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。  
2023年2月期第3四半期に係る各数値は、当該会計基準等を適用後の数値となっており、営業収益は対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第3四半期	282,851	131,807	46.6	2,808.52
2023年2月期	280,810	122,002	43.4	2,599.79

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 131,807百万円 2023年2月期 122,002百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年2月期	—	40.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

### 3. 2024年2月期の連結業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	809,800	5.8	22,200	15.9	23,000	14.9	15,000	12.5	319.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	49,450,800株	2023年2月期	49,450,800株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	2,519,431株	2023年2月期	2,522,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	46,929,809株	2023年2月期3Q	46,870,373株

(注) 期末自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2024年2月期3Q 80,500株、2023年2月期 84,300株）が含まれています。

また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。（2024年2月期3Q 82,264株、2023年2月期3Q 87,130株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

2024年2月期の個別業績予想 (2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	809,600	5.8	22,600	14.8	14,750	13.7	314.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インフレの継続、世界規模での金融引き締め等による景気停滞、円安の影響、長期化するロシアによるウクライナ侵攻に加え中東情勢の緊迫化等により、先行き不透明な状況が継続しております。一方、新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更や行動制限の撤廃に伴い国内の社会経済活動が正常化する中、経済成長率は一部に足踏み状態がみられるものの底堅い状況にあり企業業績は概ね好調に推移しました。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、商品価格上昇により収益面では総じて好調に推移しましたが、賃金上昇が物価上昇に追いつかず消費マインド低下が懸念されるだけでなく、人件費や電力料金、物流費をはじめとする各種コストの上昇等、企業運営を取り巻く環境は予断を許さない状況です。

こうした経営環境のもと、当社グループは、「第六次中期経営計画」で構築したものと外部環境の変化を踏まえ、経営理念・ビジョン・ライフらしき宣言の実現に向け2030年度に当社が目指す姿を見据えて、以下の3つを主要テーマとした「第七次中期経営計画」に当連結会計年度より取り組んでおります。

- ・人への投資～従業員の成長と従業員満足度向上によるモチベーションアップが、第七次中期経営計画を前進させ会社の成長につながるという認識から、人財の成長や働きがいのある職場に向けた投資を行います。
- ・同質化競争からの脱却～ライフにしかない「商品」「サービス」に磨きをかけるとともに、お客様とライフがシームレスにつながる便利なお買い物環境の実現に向け「ネット事業」の拡大、スマートフォンで使用できるライフアプリからの情報提供により、お客様に快適なお買い物体験の提供を目指します。
- ・持続可能で豊かな社会の実現に貢献～「地域のライフライン」として、持続可能で豊かな社会の実現のための取り組み（環境負荷低減、地域社会への貢献等）を実施していきます。

また、3つのテーマを推進するにあたり、人手不足の状況でも第七次中期経営計画をやり遂げるために生産性を高めるとともに、コストの最適化を目指し『「カイゼン」の輪をつなぐ』のスローガンのもと全従業員が自ら「カイゼン」に取り組む活動が着実に浸透しその成果も現れてきております。

第七次中期経営計画に基づく経営戦略推進の具体的な取り組みとしては、7月にライフアプリを刷新し、さらに便利でお得な機能が追加され順調にユーザー数を増やしております。また、ライフのクレジットカード「LC JCBカード」の会員数が50万人を突破し、6月から8月にかけて毎月1回ずつ期間限定でポイントキャンペーンを開催しました。持続可能で豊かな社会の実現のための取り組みとして、既に一部店舗や近畿圏の物流センターで実施している、パッケージの破損や品質には問題がないものの社内ルール上は販売期限を迎えたこと等を理由に販売できなくなった商品を子ども食堂等へ寄付する活動を、9月より首都圏物流センターでも開始しました。また、持続可能な食品物流構築に向けた具体的取り組みを行う『首都圏 SM 物流研究会』を2023年3月に発足し、賛同する企業が10社に拡大する中、その取り組みが高く評価され「第53回食品産業技術功労賞（サステナビリティ部門）」を受賞いたしました。

新規店舗としては、3月に宝塚中山寺店（兵庫県）、ビオラルパルコヤ上野店（東京都）、4月に川崎塚越店（神奈川県）、当社300店舗目となるセントラルスクエアららぽーと門真店（大阪府）、6月に梅島駅前店（東京都）、当社が初めて手掛ける「大型ビオラルカフェ」を併設したビオラル有明ガーデン店（東京都）、9月に桜ノ宮店（大阪府）、10月に勝どきミッド店（東京都）、11月に下目黒店（東京都）を出店し、1店舗を閉鎖しました。既存店舗では、大泉学園駅前店、毛馬店、東中野店、此花伝法店、杭全店で「BIO-RAL（ビオラル）」商品や冷凍食品等の品揃えを拡充する改装を行いました。

当社グループの業績におきましては、新規出店、ネットスーパーの拡大、「BIO-RAL（ビオラル）」等のプライベートブランド商品の強化、おいしさを追求した商品施策等を実施した結果、営業収益は6,024億52百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。一方、販管費は、水道光熱費の高騰、新規出店に伴う賃借料等の各種物件費の増加に加え、採用強化等に伴う人件費も増加しましたが、生産性の向上、コスト最適化の取り組みが計画以上の結果につながり、営業利益は192億32百万円（前年同四半期比41.8%増）、経常利益は198億52百万円（前年同四半期比40.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は132億69百万円（前年同四半期比37.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### (小売事業)

営業収益は6,022億83百万円（前年同四半期比5.9%増）、売上高は5,804億49百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント利益は195億46百万円（前年同四半期比40.4%増）となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門が2,521億16百万円（前年同四半期比5.0%増）、一般食品部門2,607億7百万円（前年同四半期比7.0%増）、生活関連用品部門503億19百万円（前年同四半期比5.1%増）、衣料品部門173億6百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

(その他)

株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は20億64百万円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は3億6百万円（前年同四半期比32.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、2,828億51百万円と前連結会計年度末に比べ20億40百万円増加いたしました。

流動資産は、799億91百万円と前連結会計年度末に比べ4億98百万円減少いたしました。これは主として商品及び製品が28億48百万円、売掛金が8億95百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が14億93百万円、未収入金が13億20百万円、立替金（流動資産その他）が12億42百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、2,028億59百万円と前連結会計年度末に比べ25億39百万円増加いたしました。これは主として店舗の新設などにより減価償却後の有形固定資産が3億10百万円、無形固定資産が9億87百万円、差入保証金が7億8百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、1,510億43百万円と前連結会計年度末に比べ77億64百万円減少いたしました。これは主として短期借入金及び長期借入金の合計が220億66百万円減少した一方、買掛金が60億15百万円、未払法人税等が28億85百万円、未払金（流動負債その他）が65億5百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,318億7百万円と前連結会計年度末に比べ98億4百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が97億43百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月10日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年1月11日）発表の「業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後の景気・個人消費動向を注視し、連結業績予想の見直しが必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,727	8,234
売掛金	9,209	10,104
商品及び製品	25,811	28,660
原材料及び貯蔵品	250	290
未収入金	29,664	28,344
その他	5,826	4,357
流動資産合計	80,490	79,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	91,932	92,628
土地	39,614	39,614
その他(純額)	24,334	23,948
有形固定資産合計	155,880	156,190
無形固定資産		
投資その他の資産	3,218	4,206
差入保証金	24,513	25,221
その他	16,749	17,282
貸倒引当金	△41	△42
投資その他の資産合計	41,220	42,462
固定資産合計	200,319	202,859
資産合計	280,810	282,851
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,971	47,987
短期借入金	44,120	16,100
1年内返済予定の長期借入金	8,628	10,300
未払法人税等	2,363	5,248
賞与引当金	2,764	441
販売促進引当金	21	21
その他	28,367	36,233
流動負債合計	128,236	116,332
固定負債		
長期借入金	17,497	21,778
役員株式給付引当金	43	35
退職給付に係る負債	889	950
資産除去債務	5,350	5,570
その他	6,790	6,375
固定負債合計	30,571	34,710
負債合計	158,807	151,043
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	5,696	5,696
利益剰余金	109,147	118,891
自己株式	△3,838	△3,831
株主資本合計	121,010	130,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	734
土地再評価差額金	△1,154	△1,154
退職給付に係る調整累計額	1,558	1,466
その他の包括利益累計額合計	992	1,046
純資産合計	122,002	131,807
負債純資産合計	280,810	282,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	548,649	580,449
売上原価	378,723	399,112
売上総利益	169,925	181,337
営業収入	20,032	22,002
営業総利益	189,958	203,339
販売費及び一般管理費	176,399	184,107
営業利益	13,559	19,232
営業外収益		
受取利息	98	92
受取配当金	27	31
リサイクル収入	264	274
データ提供料	112	122
その他	291	279
営業外収益合計	795	801
営業外費用		
支払利息	138	143
その他	64	37
営業外費用合計	203	181
経常利益	14,151	19,852
特別損失		
固定資産除却損	38	91
本社移転費用	—	80
店舗閉鎖損失	—	66
災害による損失	—	※1 49
その他	2	13
特別損失合計	40	302
税金等調整前四半期純利益	14,110	19,550
法人税、住民税及び事業税	4,578	7,108
法人税等調整額	△120	△827
法人税等合計	4,458	6,281
四半期純利益	9,652	13,269
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,652	13,269

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	9,652	13,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	146
退職給付に係る調整額	13	△92
その他の包括利益合計	82	54
四半期包括利益	9,735	13,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,735	13,323

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は2023年8月31日開催の取締役会において、東京本社の移転方針を決議いたしました。これに伴い、不要となる固定資産の耐用年数を移転予定日までの期間に見直しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ63百万円減少しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 災害による損失

前第3四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年11月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年11月30日)

2023年8月に発生した台風7号に伴う商品廃棄損、廃棄物処理費用として49百万円を計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	小売事業				
営業収益(注) 1					
顧客との契約から生じる収益	564,585	811	565,397	—	565,397
その他の収益(注) 4	3,284	—	3,284	—	3,284
外部顧客への営業収益	567,869	811	568,681	—	568,681
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	673	1,098	1,771	△1,771	—
計	568,543	1,909	570,453	△1,771	568,681
セグメント利益	13,919	231	14,151	—	14,151

(注) 1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4 その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等が含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	小売事業				
営業収益(注) 1					
顧客との契約から生じる収益	598,255	901	599,156	—	599,156
その他の収益(注) 4	3,296	—	3,296	—	3,296
外部顧客への営業収益	601,551	901	602,452	—	602,452
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	732	1,163	1,895	△1,895	—
計	602,283	2,064	604,347	△1,895	602,452
セグメント利益	19,546	306	19,852	—	19,852

(注) 1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4 その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。